



酒匂の清流

令和3年12月15日 (水) 発行

校長 津田 将美

季節の あいさつ

朝の通学路、冷たい凛とした空気の中で見える景色は鮮やかで、秋とは違う表情を見せてくれるようになりました。澄んだ空気に乗って聞こえてくる子どもたちの挨拶も、ひときわさわやかに、快く耳に響きます。

この時期になると増えてくるポケットに手を入れたまま歩いてくる子に注意をしながらも、自分の手も自然とポケットに入りたがっているのを感じます。そろそろ登校指導には、手袋が必要になってきたかな、と感じている今日この頃です。

寒くても、朝の通学路はさわやかです。子どもたちの元気な声が聞こえ、防犯ボランティアのみなさんの子どもたちへの言葉かけが心をあたためてくれます。寒い時期だからこそ、そのあたたかさが心にしみます。

「寒くなったね、気を付けて。」

「風邪ひかないようにな。」

「元気に行っておいで。」

決まり切った言葉ではなく、その季節季節に合った声かけが自然にされていて、このような方々に見守られている松田の子どもたちは幸せだな、とつくづく思います。



私はといえば、やはりそういうボランティアの方々や子どもたちに元気をもらっています。

「お仕事、がんばってください。」

「いつも、ありがとうございます。」

挨拶だけでなく、そんな声かけも毎日のようにしてくれる子どもたちにも励まされています。

「おはようございま〜す!!!」

その日は学校に帰ってくると、遠くから元気に声をかけられました。距離感のある声で遠くからかけられていることがわかります。しかし、道の先を見ても、校門の奥を見ても声の主は見つかりません。

「おはようございま〜す!!!」

私がさがしているのがわかったのか、再度声をかけてくれたところで、声の主がわかりました。高学年の男子が、はるかに離れた4階の廊下の窓から、声をかけてくれているのでした。

「おはよう!!!」

と手を振りながら返事をすると、再度

「おはようございま〜す!!!!」

と手を振り返してくれました。

季節の挨拶、元気な挨拶、勇気の出る言葉…。多くの前向きな明るい心にふれ、得した気分になった朝でした。



地球の歴史から地域の歴史を学ぶ

11月28日に、はぎとり標本（地層を接着剤等を使ってはぎとったもの）を開成小学校からお借りし、6年生の地層の授業が行われました。講師は、元本校教諭で足柄歴史再発見クラブの大井みち先生です。開成小学校のはぎとり標本は、開成町と地元の工務店の協力で、瀬戸屋敷の敷地内に重機を使って縦穴を掘り、実際に地面の中から、富士山の火山灰も含むその時代、時代の地層をはぎとり展示したものです。その中には、富士山の噴火だけでなく、酒匂川の氾濫の跡や田畑の修復のためにその時代の人々が盛り土をしたものなどが含まれます。

生きた教材を目の前に、子どもたちも目を輝かせて大井先生の話をお聴きしていました。わざわざ松田山から火山灰を児童分袋詰めにしてきてくださって、その火山灰と同じものがはぎとり標本の中にもあることを確認しながら、地層がその時代、時代を生き生きと物語っていることを熱心にご指導くださいました。

熱い指導に子どもたちも引き込まれ、実際に火山灰にふれてみたり、地層と見比べてみたり、他の時代の地層との違いを考えてみたりと、正に本物を目の前にした学習となりました。



授業後、大井先生からは、「6年生が楽しそうに聴いてくれて感謝です。可愛くて素直な子たちばかりで、今の小学校はこんなになったのかと、感心しています。」と嬉しいお手紙をいただきました。

更に12月9日には、今度は4年生の酒匂川の学習に来てくださいました。実際に河原や三角土手でのご指導に、子どもたちも生きた学びができたように思います。



コロナ禍で停滞していた体験的な学習、本物にふれる学習が、少しずつ回り始めてきたことを感じています。

主体的・対話的で深い学び

11月29日に校内授業研究会が開かれました。今年度は、横浜国立大学の池田敏和先生を講師に迎え、「主体的、対話的で深い学び」について研究を深めています。

この日の学習は、6年生の「データの活用」でした。算数は答えがはっきり出る教科ですが、今回の学習はデータを活用し、その分析をすることで客観的な判断ができるような力を育みます。今までの算数とはちょっと違った学習で、6年生には難しいかな、と心配しましたが、子どもたちは自分の考えをもとに、グループでの話し合い、クラス全体での話し合いと、よく対話をし、仲間の意見を取り入れながら考えを深めることができました。講師の池田先生からも、お褒めの言葉をいただきました。

下は、その後の研究会の様子です。先生たちも子どもたちに負けないように、熱心な討議をし、研究を深めることができました。



♪ 神奈フィル 11月のショウ♪

2月16日に行われる神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートでは、子どもたちがいっしょにボディーパーカッションを行うプログラムがあります。11月30日に、神奈フィルの方が事前学習に来てくださいました。各クラスでも練習を重ねてきたので、子どもたちはすぐにリズムに乗って意欲的に体で演奏をして、さながらミニコンサートのような熱気でした。

やっぱりプロの演奏はすばらしく、あっという間に引き込まれ、しばしの興奮を楽しみました。本番が、楽しみです。

